

平成30年 鳥羽市教育委員会会議録

第1回 定例会

場 所 鳥羽市教育委員会事務局 教育長室
期 日 平成30年1月24日（水）
開 会 午後1時30分
閉 会 午後4時30分

出席委員	委 員 山 下 隆 広 委 員 亀 川 聖 子 委 員 江 崎 ム ミ 委 員 岡 村 忠 夫 教 育 長 小 竹 篤
------	---

出席職員（説明員及び書記）	総務課長 世 古 雅 人 学校教育課長 岩 本 和 也 生涯学習課長 榎 高 広 （書 記） 総務課長補佐 寺 本 晃 洋
---------------	---

件 名	日程第1 会議録（平成29年第11回定例会）の承認について
意見及び指摘事項 及び 事務局説明	【意見・指摘】 なし
議 事 結 果	承 認

件 名	日程第2 諸報告について
報 告 事 項	<p>【報告】 (教育長)</p> <p>1. 諸活動</p> <p>12月 2日(土) 寝屋子の島離島留学事業体験ツアー 人権講演会</p> <p>4日(月) 人権街頭啓発 市校長会</p> <p>5日(火) 南伊勢町教育委員会視察受け入れ 鳥羽市小学校人権フォーラム 海の博物館運営協議会 離島留学講演会(粟島村浦村本保村長)</p> <p>6日(水) 鳥羽市中学校人権フォーラム</p> <p>8日(金) 鳥羽市教頭会 地球塾(「鳥羽から見える『旅館』の未来」)</p> <p>10日(日) 美し国駅伝練習 地震対策シンポジウム</p> <p>11日(月) 鳥羽高校人権授業公開</p> <p>14日(木) 鳥羽高校人権教育推進会議</p> <p>15日(金) 鳥羽市小中学校人権フォーラム担当者会議 市校長会懇談会 市長市政報告会</p> <p>18日(月) バレーボール全国大会県選抜 鶴田恋さん(鳥羽東中)市長訪問</p> <p>19日(火) 定例記者会見</p> <p>20日(水) 統合計画説明会(菅島小)</p> <p>23日(土) 三田市スポーツ交流会(バレーボール少年団)</p> <p>24日(日) 美し国駅伝練習会</p>

<p>報 告 事 項</p>	<p>1 2月25日(月) 東北大学理事・三重県教委学校防災監の市長訪問に同席 (学校防災について)</p> <p>26日(火) 三重大学建築学科学学生発表(まちづくりアイデア)</p> <p>1月 2日(火) 市民新春交歓会</p> <p>3日(水) 凧揚げ大会(青少年育成市民会議)</p> <p>5日(金) 成人式リハーサル</p> <p>6日(土) 鳥羽市消防出初式</p> <p>7日(日) 成人式(市民文化会館)</p> <p>15日(月) 離島振興フォーラム</p> <p>16日(火) 京都大学 子どもの健康調査の説明</p> <p>20日(土) 鳥羽市人権・同和教育実践交流会</p> <p>22日(月) 市校長会</p> <p>23日(火) 商工会議所新春交歓会</p> <p>2. 諸報告 (教育長)</p> <p>・12月5日に答志町の寝屋子の島離島留学の取り組みを進めるために、先進的に離島留学に取り組んでいる新潟県粟島村の本保村長に答志島にお越しいただき、講演をしていただきました。</p> <p>これまでの経験、実績を紹介していただきました。お聞きしたことを参考して、地元、学校、教育委員会が連携した取り組みを深めていきたいと思えます。</p> <p>・12月25日には、防災教育に取り組んでいる東北大学の原理事の市長訪問があり、同席してお話をお伺いしました。お話には県教委の三谷防災監も同席していただきました。東北大学では震災後、防災教育の取り組みを進めており、鳥羽市での取り組み提案がありましたので、市内小中学校で希望する学校を中心に検討をしていきたいと考えています。</p> <p>なお、鳥羽市では、平成25年度からの5か年間で、市内全小中学校において、三重大学の川口准教授の防災教育指導を受けてきており、来年度以降も継続して指導していただく予定です。</p> <p>・1月16日、京都大学川上教授(大学院医学研究科 薬剤疫学)の市長訪問があり、教育委員会、健康福祉課が同席しました。内容は、健康調査書のデータベース化に向けた調査説明と協力依頼でした。京都大学では全国の小学1年生から中学3年生までの健康診断記録や乳幼児医療に関する記録を集めてデータベース化し、ビッグデータにして、子どもの</p>
----------------	--

医療に活用したいということでした。分析結果の活用など、市にとってメリットもあると思いますので、前向きに検討していきたいと考えております。実施の時期は、平成 30 年度に行いたいとの要望でした。

3. 児童生徒の活動

(1) 大舞台で活躍する鳥羽の子どもたちの紹介

- ・ MIE スーパースター☆ガールに選抜（女子ラグビー選手発掘）

神島小の藤原梨瑚さんが、三重県が国体等に向けて女子ラグビーを強化するための育成選手 5 人のうちの一人に選ばれ、ラグビー選手として育成されることになりました。

- ・ ジュニアオリンピック三重県選抜選手に選出

鳥羽東中の鶴田恋さんが、バレーボールのジュニアオリンピック三重県選抜選手に選ばれ、大阪で行われた大会で頑張りました。

- ・ 全国高校駅伝大会出場（鳥羽市出身生徒）

神島の藤原あやさん（津商業高等学校陸上部）が、全国高校駅伝大会に出場し、京都のまちを力いっぱい走りました。

- ・ 三重高校サッカー部全国大会出場（鳥羽市出身生徒）

全国高校サッカー選手権に三重県代表として三重高等学校が出場しました。レギュラーとして鳥羽東中出身の羽柴臨君と加茂中出身の奥村和暉君が県予選から活躍しました。羽柴君は三重県大会で得点王になりました。

(2) 「第 11 回美し国三重市町対抗駅伝」に向けて

2 月 18 日に行われる美し国三重市町対抗駅伝に向け、順調に練習が行われています。主に日曜日に鳥羽高校のグラウンドを借りて練習しています。

12 月 3 日から始めた練習では、各区分二人ずつの選手が選抜されるまで、女子小学生が 6 人ほど参加していて、全体的に多い人数で練習に取り組む、活気がありました。長距離走は肉体的、精神的に厳しい種目ですが、粘り強い子を育てるということは教育の柱としても大事だと考えています。1 月 27 日には、全区分間において選手の試走を予定しています。

4. 各学校の様子

(1) 冬季休業中の各学校の様子について

冬休み期間中は各小中学校とも事故報告はなく、無事に過ごしていただきました。

(2) 事故の報告について

冬休み明けに〇〇小学校の児童が下校後、車と接触したとの報告があ

りましたが、大きなケガには至らず通学には支障はないとのことでした。
各学校には、子どもたちの交通安全について、一層気を配るように指示いたしました。

5. その他

(1) 12月市議会について

12月市議会で、教育委員会に関係する一般質問が2件ありました。

・校舎修繕、トイレの洋式化について

戸上議員からは各小中学校を視察したが、施設の修繕、トイレの洋式化等が必要ではないかとの質問をいただきました。中村市長からは前向きに対応をしていく内容の答弁がありました。

・旧鳥羽小学校校舎の方向性について

河村議員からは旧鳥羽小学校校舎の整備について質問がありました。

校舎の保存活用の方向性としては、まず、耐震壁工事からはじめ、屋根や諸室の整備を進めていくこととしています。

市長からは、財政状況を見極めながら段階的に整備を進め、整備の終わったところから順次活用を図るという旨を答弁がありました。

(生涯学習課長)

補足説明：今後、優先して取り組む必要のある消防庁舎や市民体育館などの大きなハード事業の実施が予定されていることから、鳥羽小学校の保存活用のための整備は、長期的な取り組みとして、改修を行っていく予定です。まず、今年度と来年度で耐震壁を設置する補強工事を事業費約1千万円で行っていく予定です。

建物のコンクリート強度はかなり強いのですが、建物が細長い形状のため補強が必要なところもありますので、新たにコンクリートの壁で補強することによって耐震強度を確保するものです。

次の段階で、屋根防水や諸室整備へと取り組む予定です。

(2) 「寝屋子の島留学」申し込み状況について

10月に募集を開始して家族留学1件の申し込みがありました。12月25日に面接を行い、受入れを決定しております。

里親留学については、2件の申し込みが来ております。2月2日に面接を予定しています。

今年度は、里親・家族・孫戻し留学を合わせて、5人の募集をしています。

(3) 鳥羽市小中学校統合計画の進捗状況について

学校統合については、地元の意向を尊重する基本姿勢で取り組んでいます。

統合計画の取り組みとして、これまで菅島地区での話し合いを教育委員も出席して何度も開催していますが、地区としては、学校や地域の活性化に取り組みながら、その活性化の核となる小学校を残していきたいという強い意思表示をされております。このようなことから、統合計画に記載された平成31年4月の菅島小学校の統合については、現時点で統合に向けた状況が整っていないとの判断から、平成32年度以降へ延期します。

地元との話し合いの中で、教育委員会としては、児童数が少ない中であって、学校を残していくということは、子どもたちへの学習環境の提供をはじめ、様々なことで重い責任が伴うことから、どのように地域を活性化して学校を残していくのかを、是非考えていただきたいと地元のみなさんに伝えました。地元からは活性化委員会を作りながら、今後の島のあり方、学校の存続について検討していきたいという話でした。菅島小学校の統合については、地域と話し合いをしながら、引き続き、取り組みを進めます。また、学校統合計画をきっかけに、島の活性化という観点からも話し合っていけたらと思います。

(4) 学校職員の勤務時間縮減について

学校職員の勤務が過剰になっていることが社会的にも大きな課題としてクローズアップされております。4月以降の各学校からの報告によると、徐々に勤務時間は減ってきていますが、過労死ラインとされる時間外勤務80時間を0にするということにはできていない状況です。

今後も引き続き大きなテーマとして取り組んでいきたいと思っております。

先日の校長会では、時間外勤務が80時間を超えた場合、その原因についてしっかり考えてもらいたいと伝えました。

学校の組織としての課題があるのか、個人の働き方の問題か、部活が負担になっているのか等についてしっかりと見極めていただくために、時間外勤務が80時間を超えた方には教育委員会に個人シートを提出してもらい、その上で、時間外勤務の中身の精査を行っていきますと校長会で話をさせていただきました。

(5) 学力向上に向けた取り組みについて

みえスタディチェックについて、これまで話し合いや調整をしながら、すべての小中学校で取り組んでいます。

次のみえスタディチェックは1月31日に全校で実施していただきま

す。対象は中学校2年生と小学校5年生です。

学力向上の取り組みについて、具体的に何をするのか、これまでも共有された事柄ですが、「5項目」の実践について、あらためて校長会で徹底を指示させていただきました。

<項目1> 「校長・教頭の見回り」

学力の向上というのは当然基本は授業力の向上なのですが、一朝一夕にはいかないところがあります。これは長い時間をかけてじっくりとやっていかないといけないことですが、入口としては、シンプルにやっていただきたいということから、校長・教頭が授業を見回ってくださいということを伝えました。これは今でもほとんどの学校でやっていることですが、さっと見ているだけなのか、立ち止まって授業内容についてどうしているかというところまで見ているのか、状況により違うと思いますが、目的を認識して取り組んでいただくように伝えました。

<項目2> 「過去問」

過去問の取り組みは、試験（調査）に向けた学習に特化してしまうので痛し痒しのところもありますが、取り組んでくださいと伝えました。

その理由としては、都市部の子どもたちに比べ、鳥羽の子どもたちは試験慣れしていないのではないかという思いがあつてのことです。実力を試験に発揮できる環境も必要であるとの考えから、過去問に取り組むように伝えました。

<項目3> 「ワークシート」

県教育委員会は、これまでの調査結果から浮き彫りになった、子どもたちの課題を克服するためのワークシート集を出しています。

校長会では、ワークシートに積極的に取り組んでほしいと伝えました。

<項目4> 「“めあて”と“振り返り”」

授業の始まりと終わりに、その授業の学習内容について“めあて”と振り返りをしていますが、“めあて”もただ単に黒板に書くだけでなく、伝え方も研究しなければいけません。

1時間の授業をするために有効な“めあて”の作り方ということも含めて、“めあて”と“振り返り”に焦点を当てて取り組んでいくことも伝えました。

<項目5> 「分析結果の共有」

情報の共有の重要性についても話をしました。

調査結果を分析し、学校の課題を洗い出しし、学校内で情報共有を図ることで、学校の取り組みとして、共通課題の克服に取り組んでほしいということをお話しました。

子どもたちの課題、教職員の課題、学校の課題等、さまざまな課題について、共通の認識を持てれば、取り組みの柱も太くなると考えています。

これらの「5項目」については、取り組もうと思えばすぐにでも出来ることですので、教育委員会も各学校とともに、取り組みを進めていきたいと思ひます。

(6) 鳥羽東中学校の剣道部活動について

この春、中学校に進学する小学生から、中学のクラブ活動で剣道をしたという声がありました。

現在、市内の中学校で剣道部はありません。

平成27年度までは、鳥羽東中学校が伝統を受け継いでいたのですが、残念ながら部員数の減少から廃部となった状況です。

スポーツ振興、武道振興の面からも、練習環境がありながら、機会を提供できないということは残念なことで、社会体育という形で取り組めないか模索しましたところ、鳥羽剣道協会が放課後、鳥羽東中生徒の剣道の練習を見てもよいというお返事をいただきましたので、学校との調整を図りました。

調整の結果、中学校では月曜日から金曜日までの週5日、学校のいずれかのクラブに所属する必要がありますが、社会体育団体等に所属している場合は、その活動を優先してもよいという学校のルールを明確にして、認めていただきました。社会体育団体等の活動は、学校のクラブ活動ではありません。

また、このことをきっかけに、学校区の違う小学生からも剣道がしたいという声がありました。中学校でも剣道が続けられる環境があるのなら鳥羽東中学校に区域外就学したいという申し出です。

児童生徒数の減少や指導経験のある教員不足、外部指導員の確保の難しさなど、学校では多様なクラブ活動の提供が難しくなっている現状の中、出来るだけ応えていくことが公教育の使命と考えていますので、区域外就学についても前向きに考えていきたいと思ひます。

この場合、実務的には、鳥羽東中学校のクラブ活動ではありませんので、鳥羽市の区域外就学許可基準では「特別な事情：教育委員会が区域外就学が適当であると認めた場合」に該当するものとして教育委員会に諮る必要があります。

今後、学校クラブ活動については、社会体育化へと移行していくことが必要であると考えています。子どもたちの多様なニーズ、可能性を広げたり、教員の負担軽減につながりますので、検討を進めていきたいと思ひます。

<p>報 告 事 項</p>	<p>(7) 来年度の予算要望の骨子</p> <p>来年度の予算要望について、先日、市長ヒアリングがありました。</p> <p>要望の骨子としては、学校修繕の対応、国際観光文化都市の名にふさわしい子どもの人材育成を目指した英語教育の充実、次年度小学校 4 年生以上を対象に本年度作成の鳥羽の偉人や海女文化を詳しく解説した歴史副読本を配布させていただくので、それに合わせ、郷土学習を充実させるための「とばっ子検定」の実施について説明しました。</p> <p>市の予算編成も厳しい状況ですが、教育委員会としての方向性はしっかりと出していきたいと思えます。</p> <p>(8) 人事異動方針について</p> <p>今年度末で 2 名の管理職の退職があり、例年に比べて少ない状況です。</p> <p>異動方針については、新陳代謝を図るため積極的な人事異動を行っていきたくと考えています。このことについては、議案として次の教育委員会でお諮りする予定です。</p>
<p>委員質疑確認 及び 事務局応答説明</p>	<p>【質疑・回答／意見】</p> <p>5. その他</p> <p>(3) 鳥羽市小中学校統合計画の進捗状況について</p> <p>(委員 C)</p> <p>地元説明をして、教育委員会は菅島小の平成 31 年 4 月統合を延期することを決定した訳ですが、手続き等は必要ですか。</p> <p>(教育長)</p> <p>学校統合は、遅くとも 1 年半前には方針が決定していないと統合に向けた準備、調整が出来ないことから、今の時期の判断が必要でした。</p> <p>書類的な手続きはありませんが、今後について、引き続き継続して対象校と話し合いをしていく必要があります。</p> <p>(委員 C)</p> <p>統合計画の進め方については、これまでに統合した地域、今後、統合が計画されている地域、様々な声が出てくると思いますので、透明化した方がよいと思います。</p> <p>(教育長)</p> <p>これから答志中学校、長岡中学校も統合の話し合いが必要な時期に来ています。今回の延期で、計画が遅れることとなります。菅島の統合状況を前例として、これからの話は少し難しいものになると思います。</p> <p>学校の適正規模、適切な教育環境の提供という観点を持ちながら話を進めないと、単に地元の意向だけでは実りのあることに繋がらないと思</p>

<p>委員質疑確認 及び 事務局応答説明</p>	<p>います。小学校で児童数 20 人という基準を持っていますが、2、3 年後には 20 人を切ってしまうことが見えてきている学校のことを考えながら、統合計画について理解を得られるように整理していく必要があると考えています。</p> <p>(委員 B)</p> <p>学校統合については、保護者やこれから保護者になる未就学の子どもを持つ親の意見、将来子どもを持つ若い世代の意見が大切だと思いますがどのように考えていますか。</p> <p>(教育長)</p> <p>学校統合の話し合いをするとき、話し合いの相手が誰なのかは、重要なことです。保護者等の意見だけでなく、地域の意見も聞くということも必要だと思いますので、話し合いの受け皿として、話し相手が誰なのかは地元と調整して決めていく必要があると思います。</p> <p>(委員 A)</p> <p>学校統合については、地域が保護者の声を無視して決めることはできないと思います。学校統合に同意するかどうかの判断は、現在の保護者、将来の保護者の冷静な考えをお聞きする必要があると思います。</p> <p>鏡浦中学校の統合時も地域と話し合いを行いました。最終的には保護者の考えが、重要な判断材料になったと記憶しています。</p> <p>離島と陸地では、状況は違うかもしれませんが、鏡浦中学校の統合の時は、保護者だけで集まって各学年別に意見を出し合い、その結果をみんなの場で発表するといった過程を踏まえていたと思います。</p> <p>地域の方と保護者が一緒にいる中での話は、賛成と思う保護者の声が出しにくいこともあったように思います。</p> <p>様々な考えがあると思いますので、発言しやすい状況を作ることが大切だと思います。</p> <p>(委員 C)</p> <p>現在、離島の小学 6 年生で、本土側の中学校や市外の市立中学に進学する子はいますか。</p> <p>(学校教育課長)</p> <p>何名かいることは聞いています。</p> <p>(委員 C)</p> <p>学校を新築したが、新入生はそこへ行かず、島外の中学校に進学するというケースがあったと思います。そのような話を聞くと、保護者の意向はどうだったんだろうと考えてしまいます。地域は地元に残したいが、子どもは出ていくということに矛盾を感じます。</p>
----------------------------------	---

委員質疑確認
及び
事務局応答説明

(委員A)

旧桃取小学校児童の保護者のかたは、学校統合を経て、現在どのように思っているのか把握していますか。

(教育長)

間接的にですが、鳥羽小へ行ってよかったという声を聞いています。

(委員A)

学校統合した地域の児童や保護者の現在の声を聞かせていただいて、これから学校統合の説明をする際に、話し合いの中で紹介していくことも必要ではないでしょうか。

(教育長)

これから学校統合の説明をしていく地域の保護者のひとりに意見を聞いたところ、学校統合によって学力が上がったという事例があるのであれば、学校統合を検討するという話も聞きました。全国学力・学習状況調査の結果を見ると、本市の場合、小規模な学校のほうが傾向として学力的には高いという結果であり、小規模校や複式のある学校の方が成績が良かったりするというデータもあります。

ただ、学力は重要ですが、それだけを判断材料にするのは良くないと思います。勉強だけでなく、友達関係や集団で取り組んだ体験など、大勢の中で自分を意識できる様な環境、人を育てる環境としてより望ましいものを考えて、判断していくことが重要だと考えています。

(委員B)

集団の中で力を発揮する力を育むには、小規模校は厳しいのではないですか。

(委員A)

全国学力・学習状況調査の結果が、真の学力とは言い切れない面もあります。

(委員C)

各校を訪問する中で、小規模校のほうが良い取り組みをしているように感じる場合があります。子どもたちに浸透しやすいのではないかと思います。

(委員D)

小規模校における学習環境が、良いとか悪いとか判断することは難しいことだと思います。

今回、菅島小学校は平成31年4月の統合を延期するという事になったので、大きい規模の学校と交流する機会を増やし、大人数の中での学校生活を体験できるようにすることで、子ども達自身にも大規模校の良いところを知ってもらうことが出来るのではないかと思います。

<p>委員質疑確認 及び 事務局応答説明</p>	<p>(教育長)</p> <p>教育環境を整えるということはわれわれの仕事。特に中学校に関しては小規模校ばかりになると、教員数の確保が難しくなり望まれる教育環境が提供できないという状況も出てきますので、その点もしっかり考えて進めていきたいと思います。</p> <p>5. その他</p> <p>(5) 学力向上に向けた取り組みについて</p> <p>(委員D)</p> <p>5 項目の取り組みについては、10 月の教育委員会定例会でも話がありましたが、それから 2 か月間、どこの学校でも取り組みが進んでいるという感触はありますか。</p> <p>(教育長)</p> <p>このことは、理解したうえで継続することが大切で、校長先生方を先頭に、各学校、前向きに取り組んでいただいています。</p> <p>5. その他</p> <p>(6) 鳥羽東中学校の剣道部活動について</p> <p>(委員A)</p> <p>剣道の実施場所はどこになりますか。</p> <p>ケガをした場合は剣道団体が対応するのですか。</p> <p>(教育長)</p> <p>実施場所は鳥羽市武道館になります。</p> <p>ケガ等への対応は、教育課程外となりますので自己責任での参加となりますが、団体が加入しているスポーツ保険等で対応できると考えております。実施までに、団体と調整し整理していきたいと思います。</p> <p>5. その他</p> <p>(委員C)</p> <p>成人式の実行委員は新成人全体の世話役として、会議や準備等でご苦労も多いと思いますが、どのように人選をしていますか。</p> <p>(教育長)</p> <p>実行委員の人選は、各学校の旧担任に依頼しています。</p> <p>市内開催で、本番までに 5 回程度の実行委員会の会議を開催しています。仕事が終わってからの会議に出席できる人を人選しています。</p> <p>最近の成人式の様子から、少し内容が型にはまっている感があったので、会議や準備段階から、実行委員が主体的に取り組んで、自分たちのカラーを出してほしいという思いがありました。</p>
----------------------------------	---

<p>委員質疑確認 及び 事務局応答説明</p>	<p>限られた予算の中ではありますが、自分たちの手で、自ら工夫して、将来の鳥羽を見据えた、新成人の思いが詰まった式を期待していることから、サポートする教育委員会もその目線で取り組んでいきたいと思えます。</p>
----------------------------------	---

<p>件 名</p>	<p>日程第3 議案第1号 平成30年度土曜授業の実施について</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>(学校教育課長) 資料に基づき説明</p> <p>平成30年度は「開かれた学校づくり」という土曜日の授業のねらいに沿った教育活動を年間3回実施します。</p> <p>平成25年度に学校教育法施行規則が改正され、学校を設置する地方公共団体の教育委員会における主体的な判断で土曜授業を実施することが可能となりました。このことを受けて、当教育委員会では平成26年度は試行期間として2学期に1回、平成27年度からは年間5回の土曜授業を実施してきました。</p> <p>昨年11月30日に鳥羽市と志摩市の小中学校関係者等で土曜日の授業協議会が開催され、土曜授業の成果と課題が確認されたところです。</p> <p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業参観や学校行事講演会等を実施することで、たくさんの保護者や地域のかたに学校に来ていただき、開かれた学校づくりの推進につながった。 ・授業を実施することで、各教科の授業時間数を確保することができた。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事やスポーツ少年団・部活動の大会等との日程調整が困難であった。(特に2学期) ・十分な休養が取れず、土曜授業の翌週は子どもたちが疲れていた。 ・スポーツクラブの活動や習い事、家事都合等で欠席する子どももいたため、欠席者が多いと授業が進めにくいということがあった。 ・教職員が同一週に振替休日を取ることが非常に困難で、振替日を設定するのに多くの労力を費やした。総勤務時間の縮減に向けて取り組む上での大きな課題となっている。

<p>担当課説明等</p>	<p>このことも踏まえて、平成 30 年度の方向性は次のとおりです。</p> <p>[平成 30 年度の方向性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間 3 回以上実施する。 ・児童・生徒の振替休業日を設け、1 日かけて実施する教育活動、運動会や文化祭等を土曜日の授業として実施することも可能とする。 ・開かれた学校づくりという土曜日の授業の狙いに沿った教育活動を実施していく。
<p>委員質疑確認 及び 事務局応答説明</p>	<p>【質疑・応答／意見】</p> <p>(委員D)</p> <p>平成 29 年度は 5 回のうちの 2 回は振替対応したと思いますが、来年度からは学校の判断で 3 回とも振替対応にしてもいいということでしょうか。</p> <p>(教育長)</p> <p>正確には 3 回以上ということですので、4 回実施する学校もあるかもしれませんが、学校で調整が出来れば、すべて振替対応することも可能です。</p> <p>(委員C)</p> <p>土曜授業に対して、保護者や子どもたちの意見はどうでしょうか。</p> <p>(教育長)</p> <p>土曜協議会の中に P T A の代表のかたも見えますのでご意見を伺いましたが、保護者の立場としてはどんどん学校に行ってもらっていいということでした。ただ、教員の勤務時間が労働基準法で 38 時間 45 分と決められていますので、土曜授業を実施するとそれを超えてしまいます、</p> <p>そのため、同一週の中で振替休日を取るよう指導されているところですが、土曜授業のため、先生だけ月曜日のお昼からお休みというのは、理解していただきにくいことです。そういう事情があるなら土曜授業を減らすこともやむを得ないという保護者の意見もあります。</p> <p>子どもたちからは、特にアンケートを取ったわけではありませんが、スポーツ少年団活動などにも参加している子もいますので、土曜授業明けには、子どもたちが疲れている様子が見えるという教師側からの報告もありました。</p> <p>(委員A)</p> <p>習い事などの都合によって土曜授業を休むという事例は多いですか。</p> <p>(教育長)</p> <p>全員出席することは、大きい学校では、ほとんどありません。</p> <p>基本的に県下では第 3 土曜日を土曜授業の日にする申し合わせがありますが、それが形だけになってしまっています。</p>

委員質疑確認 及び 事務局応答説明	(委員C) 保護者としては、実施日数等が毎年変わるのには困ると思います。変わる場合は、説明が必要ではないでしょうか。 (教育長) 土曜日の授業協議会の中では、経過を見て話をする事になっています。
議 事 結 果	承 認

件 名	日程第3 議案第2号 鳥羽市社会教育指導員設置などに関する規則の一部改正について
担当課説明等	(生涯学習課長) 資料に基づき説明 本規則では、社会教育指導員の人数を3名と定めていますが、今回の改正では、3名以内としております。 現在、社会教育指導員は、人権担当1名、社会教育担当2名の3名です。 社会教育担当は、報酬職員として公民館等での生涯学習講座を担当していますが、担当する業務を社会教育係の事務補助まで広げるため、臨時職員として配置したいことから、規則の改正をするものです。
委員質疑確認 及び 事務局応答説明	【質疑・応答】 なし
議 事 結 果	承 認

件 名	日程第4 その他 1. 後援依頼について
担当課説明等	(総務課長) 後援依頼各申請(写し)に基づき説明 (1) 第26回動作法学習会 【前回：平成29年第1回】 (2) 第8回体操フェスティバル in サンアリーナ 【前回：平成29年第1回】
委員質疑確認 及び 事務局応答説明	【質疑・応答】 なし
議 事 結 果	承 認

件名	日程第4 その他 2. その他
担当課説明等	<p>【報告1】</p> <p>○大学生奨学金規則の制定について (教委総務課長補佐) 資料に基づき説明 (総務課長)</p> <p>三重大学は、鳥羽市から尾鷲市までの地域（伊勢市、度会町は対象外）にある県立高校を対象に、将来、地域に貢献する教員を確保するために、地域推薦入学として教育学部で5名程度を受け入れる制度を新設する予定です。</p> <p>この制度の規定では、市の奨学金規則が必要となっており、現在、鳥羽市には奨学金規則が無いことから、奨学金規則素案を作成しましたので、ご説明します。</p> <p>この規則の内容は、三重大学が行う地域推薦入学試験に合格し、三重大学教育学部に在籍するもので、将来、三重県南部地域の小学校教員として貢献する意思のあるものに対して、奨学金の貸付を行うものです。</p> <p>貸付型の奨学金ですが、南部地域で教員として5年在籍すれば、返還を免除する内容となっております。</p> <p>資格としては、鳥羽市に居住する者で、地域推薦入学試験に合格し、教育学部に在籍している者で、人数は1名としております。</p> <p>当市の対象校としては鳥羽高校になります。市と教育委員会は、鳥羽高校支援のため活性化協議会に参加しており、その支援につながるものとして、地域推薦入学の条件整備に取り組むものです。</p> <p>この規則素案をもとに、内容の確認、検討をさらに進め、関係課と調整を図って、H30年度中前半に制定していきたいと考えております。</p>
委員質疑確認 及び 事務局応答説明	<p>【質疑・回答／意見】</p> <p>○大学生奨学金規則の制定について (委員A)</p> <p>奨学金は、通常の入試で合格した場合は対象とならないのですか。 (教育長)</p> <p>三重大学が出した地域推薦入学の要綱に従って作ったものですので、通常の入試で合格したかたは対象としていません。</p> <p>(委員A)</p> <p>地域推薦入学制度は良い取り組みだと思うので、今後、拡大を期待したい。三重大学には生物資源学部等もあるので、その方面で将来、地域人材として本市の漁業に携わることを目指す学生にも奨学金の対象を広げてけるといいと思います。</p>

<p>委員質疑確認 及び 事務局応答説明</p>	<p>(委員D) 制度の周知については、どのように考えていますか。</p> <p>(総務課長補佐) 新たな施策となるので、市長の記者会見発表のほか、市広報などで周知を図りたい。また、鳥羽高校や市内各小中学校にも周知します。</p> <p>(委員B) 地域推薦入学は、三重大学教育学部小学校課程を限定しているので、規則の中で、中学校教員は対象とならないことが分かるように明記する必要があるのではないですか。</p> <p>(教育長) 三重大学の地域推薦入学の制度で、教育学部小学校教諭養成課程を対象にすると明記されていますので、制度名を明記することで特定できます。</p> <p>(委員B) 三重県南部地域の小学校教員となり、在職5年を経過すると奨学金の返済免除としていますが、最初から南部地域に配置されるとは限らないのではないですか。</p> <p>(教育長) 県教育委員会と三重大学で協定が結ばれており、この推薦枠で入学し、小学校教員として採用された者は、地元への配属が優先されます。</p> <p>(委員A) 鳥羽市から三重大へ入学し、将来、地元に戻って活躍することが条件なら、授業料だけでなく交通費や下宿費の支援を考えても、市にメリットがあると思います。</p> <p>(委員B) 大学の授業料が値上げされるとの話もありますが、それに合わせて奨学金の支給額を増額する必要はありませんか。</p> <p>(総務課長) 規則改正については、状況により検討していく必要があります。</p> <p>(委員C) この地域推薦入学の制度は、鳥羽市から伊勢市の高校に通っている生徒は対象にならないのですか。</p> <p>(教育長) 地域推薦入学の制度は、伊勢市・度会町を除く三重県南部地域で、地域色の強い高校を対象校として募集を行います。本市の場合は鳥羽高校が対象校となります。</p>
----------------------------------	--

<p>委員質疑確認 及び 事務局応答説明</p>	<p>(委員C) アナウンスする際は、誤解のないように伝える必要があります。</p> <p>(教育長) 対象校、条件など、誤解のないようにお知らせしていきたい。</p> <p>(委員A) この地域推薦入学の制度は、三重大卒業後に、地元に戻って教員として働くことを想定しています。将来、鳥羽へ帰ってきて活躍することを前提とするなら、もっと投資してもよいのではないかと思います。</p> <p>(総務課長) 何らかの事情で教員になれなかった時には奨学金を返済しなくてはいけない状況もありますので、奨学金支給額は返済可能な金額も想定し、今後、改定する場合は、そのことも考えていく必要があります。</p> <p>(委員C) 希望していた就職ができなかった状況で奨学金を返済していかなければならないということは、本当に厳しいことだと思います。</p> <p>(委員B) その可能性は実際にあると思います。教員採用数が大幅に減ったときには教育学部の学生も多くが一般企業に就職するというケースが過去にもありました。将来的に子どもの数も減っていくので教員の採用数も減っていく可能性が高いと思います。</p> <p>(学校教育課長) 正規の教員として採用されず講師となった場合も、規則に定められた条件を満たせば、奨学金の返済免除が受けられます。 対象者が、教員を目指す方向性さえ変わらなければよいので、深刻な話ではないと思います。</p> <p>(教育長) 鳥羽高校から三重大に進学する予定の生徒は、今年度はいません。 また、来年度も今のところいないと聞いています。実際に奨学金制度が活用されるようになるまでには猶予がありますので、その間に改正する必要があるれば検討していきたいと思います。</p>
----------------------------------	--

<p>担 当 課 説 明 等</p>	<p>【その他の報告】</p> <p>○三重大学伊勢志摩サテライト事業について (生涯学習課長)</p> <p>三重大学の地域拠点サテライトは、北勢、伊賀、東紀州で事業が動き始めています。伊賀では忍者の研究、北勢では四日市で企業と連携したものづくりの取り組み、東紀州ではへき地教育、水産増養殖等の地域課題に取り組むサテライトを設置しています。</p> <p>三重大学では、伊勢志摩地域で平成 29 年度に拠点を決定するという方針を持っており、鳥羽市としては、伊勢志摩サテライトの設置を要望してきたところです。市の提案の一つでは、海の博物館を拠点とした「海女」「海藻」に関する取り組みを大学と連携したいと伝えてきました。</p> <p>三重大学の伊勢志摩サテライトの設置について、まだ、正式に決定しておりませんが、大学からは海の博物館を拠点とした取り組みに前向きなお話も出てきております。市、教育委員会では、まだ具体的な連携事業について決まってはいませんが、取り組みの方向性として「海女」「海藻」を主要テーマとした連携事業を検討していきたいと考えています。</p> <p>○人材育成講座「地球塾」公開講座について (生涯学習課長)</p> <p>人材育成講座地球塾第 6 回公開講座の実施について資料に基づき説明 ・ 2 月 2 4 日 (土)、「きらり輝け！鳥羽の未来～地域研究サークル『とばっこくらぶ』を通じた地域学習と鳥羽のまちの魅力発信～」と題して、第 9 回全国高等学校観光選手権大会銅賞を受賞した「とばっこくらぶ」のみなさんと鳥羽高等学校教諭の安田恵理さんに発表していただきます。</p> <p>○学校給食の価格改定について (学校教育課長)</p> <p>学校給食の価格改定について資料に基づき説明。 2 月 8 日に鳥羽市の学校給食協会評議委員会で価格改定についての審議をしていただき最終決定します。</p> <p>(教育長)</p> <p>全国の自治体をみると給食費を無料にしたり、補助金を出したりというように、どちらかという貧困家庭への配慮として給食費の軽減をしているところが多いのですが、鳥羽市の場合は、施設維持、調理人件費等を市が受け持ち、食材費については受益者の負担という学校給食法に沿った考えのもと実施しています。</p> <p>貧困家庭に対する支援としては、これまでどおり、就学援助での全額補助ということで対応をしていきます。</p>
--------------------	--

<p>担当課説明等</p>	<p>○卒業式の日程について (学校教育課長) 卒業式の日程について資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 3月16日(金) ※神島小学校のみ3月17日(土) ・中学校 3月9日(金) ※神島中学校は3年生がいないため卒業式はありません。 ・幼稚園 3月22日(木)
<p>委員質疑確認 及び 事務局応答説明</p>	<p>【質疑・応答】</p> <p>なし</p>
<p>議 事 結 果</p>	<p>了 承</p>

午後4時30分 閉 会